

となっている。  
のパレード。午後1時20分  
(ほえ)かごに浴衣姿の愛染  
JR天王寺駅から愛染堂ま  
染娘の一人、会社員の松野  
笑顔と愛嬌(あいぎょう)  
お年寄りまで元気になる祭  
気込んでいる。【大沢瑞季】

|          |          |       |
|----------|----------|-------|
| こよみ      | 月出       | 10:30 |
| 6月15日(土) | 月入       | 23:12 |
| 旧暦5月7日   | 日日出      | 4:44  |
| (大安) 小潮  | 日入       | 19:13 |
|          | (中央区大手前) |       |
|          | 満潮       | 10:38 |
|          | 干潮       | 5:31  |
|          | 干潮       | 17:21 |
|          | (大阪港標準)  |       |



月齢 6.5

# 市内

## 過労死のない社会に

大阪で始まった弁護士らによる相談電話「過労死110番」が今年で25周年を迎え、記念シンポジウム「過労死社会は変革できるか」が大阪市中央区の府立労働センター(エル・おおさか)で開かれた。約50人が参加し、過労死・過労自殺のない社会づくりを考えた。

【服部陽】

学者や弁護士らでつくる「大阪過労死問題連絡会」(会長・森岡孝二関西大教授)が主催した。熊沢誠・甲南大名誉教授が25年の経過を踏まえ、講演。最近の特徴として「企業が若者に過大なノルマを課した上で、達成できないと徹底的に非難し、自尊心を破壊する」と指摘し、「遺族の

相談110番25周年

### 学者や弁護士らシンポで考える

大阪過労死問題連絡会 過労死110番25周年記念シンポジウム

#### 過労死社会は変革できるか

— 過労死110番の四半世紀から考える —



「過労死110番」25周年記念シンポで意見を出し合う参加者ら  
—大阪市中央区で

闘いにより前進は見られ「ええことがない」と訴えるが、過労死の足音は絶た。

家族を亡くした3人も登壇した。父親を過労自殺で亡くし、現在は兵庫

### 遺族「父の死無駄にせぬ」

のホットラインとして相談を受け付けるという。

死防止基本法」への理解を求めた。  
同連絡会は15日午前10時〜午後3時、過労死・過労自殺に関する無料の電話相談を受け付ける。番号は06・63664・7272。15日以降は常設

殺で亡くし、現在は兵庫県豊岡市で弁護士として活動する下中喜代美さんは「父の死を無駄にしないため、支えてくれた人たちへの恩返しのため」と意気込みを語った。また、立命館大大学院で学ぶ韓国人留学生、姜旻廷(カンミンテ)さんは「韓国の中小企業では基本給が低く、残業をせざるを得ない。過労死が社会問題になっておらず、明確な基準を設けることが重要だ」と報告した。最後に森岡会長が「長時間労働が諸悪の根源だ」と主張。遺族らが制定に向けて100万人の署名を集めている「過労